



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2024 6

4月24日～26日、ひょうごボランティアプラザ主催の「災害ボランティアバス」に、兵庫県生協連から4人が参加しました。バスには、他の支援団体も含め計15人が乗り込み、発災から4カ月経過した能登半島地震の被災地のひとつの珠洲市ボランティアセンターを訪問し、被災家屋の片づけ作業を行いました。
(関連ページP8)



4月24日 神戸駅前から夜行バスで出発する様子



4月25日 石川県珠洲市社会福祉協議会のボランティアセンターに到着。





生活クラブ生活協同組合都市生活
専務理事

山本 晋也

(やまもと・しんや)

市民・生活者が主人公になる まちづくりに必要なこと

生活クラブ生協都市生活は1986年に創立、今年で38年目を迎えます。私が生活協同組合都市生活に入職したのは就職氷河期最中の2000年です。専従者として今年で24年目。入職当時、班の共同購入が中心で、注文は月に1度まとめて申し込む、たまごは5kgか7kg規格のみ、豚肉は1/8頭もの量。配達先の班では、それら大容量の食材を班の数人でワイワイ言いながら分け合うという、今では考えられないような供給形態だったのも懐かしいものです。

さて、今年2月、京都大学の学生寮「吉田寮」の入居学生への立ち退きをめぐる訴訟の判決がニュースになりました。寮の老朽化、倒壊の危険性という課題は確実にあると思いますが、それは傍に置きます。私が注目したのは京都市の指摘にある「寮は寮の自治会が運営することが大学側と自治会との間で確認されていて、寮生は自治運営されていることに意味を見いだして入寮しており、代替宿舍の提供をもって契約は終了できない」と、京都大学側の訴えを一部棄却したという点です。

地域の自治会、大学の自治、地方自治、新疆ウイグル自治区など、普段から「自治」という言葉に触れていたものの、今回、吉田寮の学生による自治運営に焦点が当たったことで、自分の生活に改めて「自治」が大切なことだと考えさせられる出来事でした。

どの生協や協同組合も自発的に集まった人が組合員となり、自主運営がなされています。生活クラブ生協都市生活では、例えば総代会においても、議案の策定議論と議案作りは当然ながら、総代会会場でも書記や議決時の票数え係、総代の子どもを預かる託児に至るまで、組合員自らが運営しています。前述のようにワイワイ話し合いながら、他の誰かに任せるのではなく自分事として考え役割を持って行動することこそ自治であり、民主的だと考えます。

兵庫県生活協同組合連合会のスローガンに「協同が息づく兵庫のまちづくり」とあります。10年ほど前に参加した兵庫JCC・虹の仲間づくりカレッジで、当時の兵協連専務理事が発言された「協同組合が活発な兵庫の地で暮らしたい、そう思われるような地域にしよう」という言葉を胸に刻み、地域とともに自分たちが暮らす社会づくりの一翼を担っていく所存です。

兵庫県の生活協同組合連合会のスローガンに「協同が息づく兵庫のまちづくり」とあります。10年ほど前に参加した兵庫JCC・虹の仲間づくりカレッジで、当時の兵協連専務理事が発言された「協同組合が活発な兵庫の地で暮らしたい、そう思われるような地域にしよう」という言葉を胸に刻み、地域とともに自分たちが暮らす社会づくりの一翼を担っていく所存です。

CONTENTS

- | | |
|--|---|
| 2. 想点 | 5. 保健・医療・福祉研究会 報告／
2023年度 消費者教育支援事業実施 報告 |
| 3. 医療生協部会 報告／
賀川豊彦召天64周年 記念集会参加 報告 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 4. 初級経理学校 報告／
ひょうごまるごと健康チャレンジ2024実行委員会 報告／
「JCA 学習会」・「IYC2025説明会」参加 報告 | 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 |
| | 8. 能登半島ボランティアバス 報告／県連行事予定／
編集後記 |

第3回 医療生協部会 新しい共立病院を見学しました

2023年度第3回 医療生協部会は新共立病院の見学を兼ねて、姫路医療生活協同組合にて開催しました。新共立病院の見学には、ろっこう医療生協、宝塚医療生協の役員9名も参加し2班に分かれて、地域に密着した病院として①医師との連携によるチーム医療②看護師、ケアワーカーによる心かよいあう看護、介護③専門職による生活リハビリテーション・口腔・嚥下アプローチしている現場を見学しました。



姫路医療生協 黒岩専務から説明を聞く見学者



病院内の見学の様子

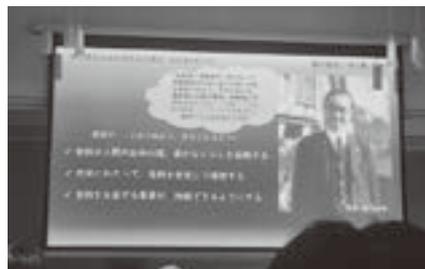
その後、次年度計画、介護報酬改定対応などの意見交流をしました。「仲間ふやし・出資金ふやし・班づくり・担い手づくり」を進めることで健康で安心して暮らせる地域づくりを強化する。健康まつりの再開に向けて実行委員会を立ち上げる。「医療から介護へ」「病院から施設へ、施設から在宅へ」の流れをつくり、「地域包括ケアシステム」導入の準備を進める等の計画が報告され、次年度方針を共有することができました。

賀川豊彦召天64周年 記念集会 に参加しました

4月27日、賀川記念館 メモリアルホールにて開催された記念集会に兵庫県生協連合会の事務局メンバーが参加しました。



会の中で前兵庫県農業協同組合中央会常務理事の小寺 收氏による「賀川豊彦、『食と農』を想う」の講演があり、災害が続くこの時代に賀川精神をどう継承すべきかを参加者と共に考えました。



兵庫県生協連

「2023年度初級経理学校」を開催

3月7日に兵庫県生協連初級経理学校をオンラインで開催し、24名（6会員生協・5関連会社）が参加しました。

日本生活協同組合連合会 管理本部 経理部 湯浅 慶星氏から①経営分析の基礎②決算関係書類の見方③経営分析の目的と考え方④収益力の分析⑤安全性の分析⑥生産性の分析についてケーススタディも加えて講義いただきました。

参加者からは「初めて受講しましたが、丁寧に解説いただき理解しやすい講義内容でした。特に分析に関する講義は比較例を出しながら進められたので、イメージしやすかったです」「企業の経営分析に関心があったため、今回の講義は最適な内容でした。図解もあり資料も解り易く、分析内容の相関関係についても理解することができました」「とてもわかり易い研修でした。初級の方に向けたさわりから、B/S・P/Lの分析の仕方や実践を短い3時間に盛り込んだ内容で、効率よく勉強することが出来ました」などの感想が寄せられました。



ひょうごまるごと健康チャレンジ2024 実行委員会（第1回 第2回）を開催

ひょうごまるごと健康チャレンジ実行委員会を4月10日に第1回、5月15日に第2回を開催し、チャレンジコースやチャレンジシートの内容、進め方を検討しました。

実行委員の皆さんからは「今年度は小学生やその家族に向けての発信したい」「地域の様々な組合員さんとながりをもち進めたい」という声が出されました。

今年度もチャレンジ期間は7月から11月の予定です。「ひょうごまるごと健康チャレンジ」はスタートから7周年。今年も自分にピッタリなメニューを選んで、気軽に健康習慣づくりに取り組みましょう。詳細は7月号でご案内いたします。



2024年度 「JCA 学習会」「IYC2025説明会」に参加

5月17日、Zoomを使用したオンライン開催にて「JCA 学習会」「IYC2025説明会」に事務局メンバーが参加しました。

内容は、

- 協同組合のアイデンティティにかかる取り組みや提言について
- 県域協同組合連携組織の現状と協同組合間連携について
- 2025国際協同組合年（IYC2025）の進め方について

などの報告や提案があり、その後意見交流をしました。



第3回保健・医療・福祉研究会を開催

3月19日に保健・医療・福祉研究会を開催しました。今回の研究会では、次年度に向けテーマとして考えていくための意見交換を行いました。研究会の皆さんからは、「『保健・医療・福祉』研究会の意味を再確認し、それぞれの専門性を活かした組合員活動を中心に据えて考えることが大切」。「『地域コミュニティづくり』における生協の役割として、日常で困っている人（高齢者、子育て中の人、障がい者、生活困窮者などさまざまな人）に生協がどうかかわっていくかという福祉の視点、阪神淡路大震災から30年を迎えるにあたって、災害時に助け合うコミュニティづくりをどう作っておくかという視点が必要」「勝部氏の講演で聞いた『すべての人に居場所と役割を』の考えは、困っている当事者にとって必要であるとともに、職員の人材育成でも必要。今後、職場で職員それぞれの機能的な自立をすすめたい。」などの意見が出されました。

次年度のテーマとしては「地域福祉活動と組合員活動」「居場所づくりと役割」「支えられる福祉、参加する福祉」等の案が出されました。

保健・医療・福祉研究会

「長寿社会のすすむなか、保健・医療・福祉のあり方や生協の果たす役割を求める」ことを目指して1991年に設置されました。



兵庫県の「消費者教育支援事業」に取り組みました

兵庫県の消費者教育支援事業を活用して、会員生協・団体では毎年、エシカル消費、各種消費者問題の未然・拡大防止など様々なテーマのイベントや学習会などを開催しています。

2023年度の取り組みをご紹介します。（※甲南大学生協は3月号で特集）

生活クラブ生活協同組合都市生活	親子で！遊んで学べるローカルSDGs学習会	2023年7月29日 85人参加
生活協同組合コープ自然派兵庫	自然派フェス2023	2023年12月2日 2000人参加
神戸市民生活協同組合	高齢者の消費者被害防止対策学習会	2023年11月9日 75人参加



自然派フェス2023 コープ自然派兵庫の皆さん



親子で！遊んで学べるローカルSDGs学習会の様子



高齢者の消費者被害防止対策学習会の様子

JF

JF 浜坂

ほたるいか祭り&地エビ開催

日本海に春を告げるホタルイカ漁。全国トップの水揚げ量を誇る JF 浜坂の浜坂漁港にて、4月7日(日)「第26回浜坂みなと ほたるいか祭り & 地えび」が開催され大勢の来場者で賑わいました。(実行委員会発表 約2万人)

会場では、カゴに入ったほたるいかをクレーンでつり上げ大釜で茹であげる「ほたるいか釜揚げ」の無料試食では約3,300食分が振るまわれました。ほたるいかの軍艦巻きや甘エビの漬け丼、モサエビの漁師汁は早々と売り切れ、同イベント名物の沖漬けやほたるいかのしゃぶしゃぶにも長い行列が出来、他にもほたるいかの串揚げや炊き込みご飯など様々なほたるいかや地えびグルメが多数販売され大盛況でした。

また、特設ステージでは制限時間内に食べた匹数を競う「全日本わんこほたる選手権」が開催されました。抽選で選ばれた参加者がステージ上で熱い戦いを繰り広げ、他にも景品引換券入りの「お楽しみもちまき」や「浜坂高校ダンス部によるライブ」などの多数の催しが会場を盛り上げていました。



当日の様子



ホタルイカしゃぶしゃぶ



舌鼓を打つ来場者

JA

JA 丹波ささやま

有機栽培で消費者に 安心・安全なメロンを提供する

丹波篠山市の前川康幸さんは、元々一般企業で働きながら水稲や黒大豆等を栽培していました。生産者の高齢化や後継者不足が進み、地域の耕作放棄地が増加していく状況に危機感を覚えたため、6年前に専業農家に転向し、「丹波篠山ファーム Maegawa」を設立しました。農業を引退した生産者から4haもの耕作放棄地を引き受け、現在は10haのほ場で水稲や黒大豆の他、メロン等を栽培しています。

独立するにあたり、市内で果物を栽培している生産者が少ないと感じ、幅広い世代から人気があるメロンの栽培を始めました。より安全なメロンを消費者に届けるため、前川さんは、化学肥料の代わりに米ぬかや海藻、魚粉等を発酵させた自家製のぼかし肥料を使用しています。

また、無農薬栽培にもこだわり、農薬の代わりに500倍に薄めたお酢を適度に土壌散布することで、害虫が果実に付着しないように工夫しています。JA 丹波ささやま 営農部 営農指導課 TAC 浅山久留美さんは、「前川さんは独自で研究を重ねた有機栽培で、消費者だけでなく地球にもやさしい農業を確立している数少ない生産者です」と話します。

有機栽培に取り組み続けた結果、前川さんのメロンは、令和4年に農薬や化学肥料等の化学物質に頼らない方法で生産された食品に与えられる有機JAS認証を取得しました。

前川さんは、今後も安心・安全なメロンを消費者に提供するため、有機栽培に取り組んでいきます。





令和6年度消費生活講座 ～大人の教室シリーズ～

参加無料

専門家が伝授! 消費者力アップ術

人気の専門家による消費生活講座を開催します。オンライン（Zoom ウェビナー）で、ご自宅から期間中いつでもご視聴いただけます。また、会場でのライブ配信のご視聴も可能です。お気軽にお申し込みください。

<p>6/14(金) 14:00～15:30</p> <p>見逃し配信</p> <p>6/14(金) 17時～ 6/16(日) 24時</p>		<p>～南極発リメイク料理のお味は?～ 極限生活から考える SDGs</p> <p>第57次南極観測隊・調理隊員 渡貫 淳子氏</p> <p>資源が限られた南極での料理作りにヒントを得て、調理の工夫のコツを学び、地球環境負荷の少ない生活を目指しましょう。</p>	  申込サイト QRコード
<p>6/28(金) 14:00～15:30</p> <p>見逃し配信</p> <p>6/28(金) 17時～ 6/30(日) 24時</p>		<p>～スマホに届いたそのメールは安全?～ ネットトラブル最新情報</p> <p>(独)情報処理推進機構・グループリーダー 中島 尚樹氏</p> <p>偽SMSやメールによる詐欺、パスワードの管理等、インターネットのリスクを知って安全に使う方法を学びましょう。</p>	  申込サイト QRコード

対象：兵庫県在住・在勤・在学の方 ※各講師はオンラインでの出演となります

申込方法：オンライン参加 (Zoom ウェビナーでの視聴) 先着 200名 ←「見逃し配信」をご視聴の方もお申し込みが必要

- ① 申込サイトからお申し込みください。(下記 URL または 上記 QR コードでアクセス)
 - 6/14(金) 極限生活から考える SDGs : https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_P1exn7mqQLeeavY1eqtCQg
 - 6/28(金) ネットトラブル最新情報 : https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_4Ug5wxWVSwivoPj5k2uELg
- ② Zoom ウェビナー招待メールが届きます。当日、参加リンク部分をクリックしてご参加ください。
 - ・申込後、数時間たっても招待メールが届かない場合は、下記までお電話でお問い合わせください。
 - ・いただきました個人情報は、当講座の運営管理にのみ使用いたします。

会場参加 (兵庫県立消費生活総合センターへの来所) 先着 30名 ←当日のみ

電話でお申し込みください。 → ☎ 078-302-4001 (平日 10時～17時)

お問い合わせ：〒650-0046 神戸市中央区港島中町 4-2
兵庫県立消費生活総合センター 消費生活情報プラザ TEL:078-302-4001 (平日 10時～17時)

7 ● 兵協連だより

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓



みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

毎朝、ラジオを聞きながら、電車通勤をしています。ラジオと言ってもスマホの radiko というラジオアプリで聞いています。番組の中で3分映画短評というコーナーがあり、「映画神社のおみくじ」で選んだ映画をDJが観て、あらすじと感想をリスナーと共有するのです。私、映画はほとんど観ないのですが、そのコーナーが大好きでして、DJの流れるようなあらすじ紹介から見てもない映画が思い浮かび、その興奮も伝わってくるのです。そして最後に「あー、映画ってやっぱりいいものですね」と締めくくれるのです。

さて、話が長くなりましたが、事業者が交付するクーリング・オフができる取引の契約書などが、電子交付でもできるようになったというお話でした。消費者に事前に電子交付することの承諾が必要で、電子交付が利用できるのは、日常的にスマホやパソコンを使用していて、自分で操作ができる人に限ることとなっています。

電子交付の場合、注意してほしいのが「電子交付なら60円引き、50ポイント贈呈」などの利益供与は禁止、「電子交付なら無料、紙交付なら郵送料請求」も禁止されています。電子化などで、いろいろ変化のある時代です。頭のどこかに置いておいてもらえたらと思います。

ひょうご消費者ネット 連絡先 〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

能登半島地震 災害ボランティアバス参加報告

発災から4カ月が経過した石川県能登半島地震の被災地に向けて、兵庫県社会福祉協議会の「ひょうごボランタリープラザ」が災害ボランティアバスを運行することになり、兵庫県生協連からは4名が参加しました。

1. 実施日時：2024年4月24日（水）21時出発～4月26日（金）15時帰着
2. 支援場所：石川県珠洲市（珠洲市飯田町 珠洲市ボランティアセンター）
3. 参加者：兵庫県社会福祉協議会（2名） 兵庫県丹波県民局（2名） 兵庫県県民生活部県民躍動課（2名） 大学コンソーシアム（2名） 川崎重工(株)（1名） 兵庫県危機管理部災害対策課（1名） 日本旅行(株)（1名） 兵庫県生協連（尼崎医療生協2名・ろっこう医療生協1名・兵庫県生協連事務局1名） 計15名
4. 現地状況：4月末訪問時の現地は、未だ道路と水道のインフラ復旧の途上で、住宅や民間の施設の復旧には手が付けられていない状態。全壊、半壊の家屋の住民は市内避難所や市外に避難しており、また一部破損の家屋であっても修理しなければ住めないため避難中の住民が多い様子。地域内では窃盗などの犯罪が多く、警察のパトロールも頻繁に見かけました。

5. 活動内容：珠洲市ボランティアセンターで当日の訪問宅と作業の説明を受けました。センターには運搬用の車両をはじめ家屋の片づけに必要な備品が揃っていました。

全員で敷地内の倒れたコンクリート塀や屋内の壊れた家具を庭に集め、砕いて素材別に分け、食器窓ガラスなども細かくして分別しガラ袋に詰めました。それらを軽トラック2台で市内の解体物指定置き場へ搬出する作業を繰り返しました。作業自体は4時間程で終了しました。

6. 感想と課題：被災地域では、専門業者によるインフラ復旧と倒壊家屋や事業所の撤去を優先して進めている状態ですが、まだまだ間に合っていない様子です。一方でその地域に入ることが出来る民間のボランティアは、住民が避難先から帰って来て住み続けられるよう家屋の片づけや仮設住宅への引越し支援などを行いながら、困りごとや相談の話を聴き、必要な部署へつなぐなどの訪問活動を行うことで、暮らしへの不安が和らぐよう心理面で支えることが求められます。

現地で直接支援の経験を身近な災害時対応や防災・減災の取り組みにも役立てたいと思います。今回は住民の皆さんに寄り添い、困りごとを聴いて解決していく貴重な学びの機会となりました。

ボランティアの様子や兵庫県生協連からの参加者の感想は、こちらのHPからご覧ください



県連行事予定

- 6月3日(月) 第7回 理事会 (県民会館 亀)
- 6月24日(月) 第74回 通常総会 (県民会館 パルテホール)
- 6月24日(月) 第1回 理事会 (県民会館 1201)

5月号5ページのお詫びと訂正
5月号5ページ「2024年度 通常総会(代)会」日程一覧の記事におきまして、兵庫県生協連組合の開催日が間違っておりまして、正しくは6月24日(月)です。お詫びし訂正いたします。

編集後記

初夏に新緑の香りを運ぶ心地よい風は「薫風(くんぷう)」「緑風」とも言い、情景の浮かぶ美しい「風」の名前です。他に調べてみると梅雨入りの時期に吹く風は「黒南風(くろなまかぜ)」。空が暗い雲に覆われる頃に柔らかに吹く南風のことだそうです。一方、梅雨明けの頃には空に白い巻雲がかかる様子を表現した「白南風(しろなまかぜ)」になるそう。自然だけでなく日本語の美しさや豊かさを感じられますね。「熱風」「温風」など夏の「風」の名前はまだまだありました。

さて、新年度がスタートして早二ヶ月が経ちました。これからは湿度の高い雨の日が続きますが、自分のペースで毎日積み重ね、皆さまにたくさんの「追い風」が吹きますように。(吉本)

